

平成三十一年度

## 一般A日程入学試験

### 学力特待生入学試験（A日程）

#### 入学試験問題

## 国語

### 注意事項

1. 願書提出時に、この試験科目の受験を申請していない人は受験できません。
2. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
3. 解答は解答用紙の解答欄にマークしなさい。
4. 解答用紙にある「マーク記入例」と「記入上の注意」をよく読みなさい。
5. この問題冊子は、十五ページあります。  
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

もののけとは、「物の怪」と綴る<sup>⑦</sup>ように、死霊<sup>しりょう</sup>や妖怪を指す言葉です。したがって、「もののけ姫」とは死霊あるいは妖怪の姫ということになります。

たしかに、もののけ姫こと森の中に生贄<sup>いけにえ</sup>として捨てられた少女サンは、人間の世界から見れば、すでに死んだも同然の存在、死霊です。

そして妖怪のごとく森を徘徊し、人間を襲う。

ただ、それだけを聞くといかにも悪い存在のように思えるかもしれませんが、『もののけ姫』という作品はそのような単純な理解を許しません。

そもそも死霊が死霊になるのには理由があります。それは決して自分自身が悪いわけではなく、死霊を生み出す原因をつくった人間がほかにいるのです。つまり、死霊が悪なのではなく、死霊を生み出した人間が悪なのです。

『もののけ姫』には祟りという言葉もよく出てきます。祟りとは、怨霊によつて災厄を被ることです。悪行に対する報い。それが祟りです。死霊に悩まされるのは、**A**なのです。

反対に、死霊のほうは被害者にほかなりません。にもかかわらず、忌み嫌われる。これが恐ろしい外見をしていれば、なんの疑いを持つこともないのですが、もののけ姫ことサンは、美しい少女です。<sup>⑧</sup>ギセイ者としての少女なのです。

だからこそ私たちはもののけ姫に同情し、その行いに赦<sup>⑨</sup>しを求めます。そして和解が訪れることを望むのです。

人間は過ちを犯す生き物です。自然を破壊したり、動物の命をむやみに奪ったり、ときには人間の命さえも奪ってしまうことがあります。その過ちが死霊を生み出すのです。

過ちを犯せば、報いがあるのは当然ですが、それが正しいかどうかは別の話です。なぜなら、死霊は復讐することによって報われるわけではないからです。死霊の復讐はまた新たな死霊を生み出し、無限の怨恨のレンサ<sup>⑩</sup>がつくり出されるだけです。

白猪の乙事主<sup>おつことめし</sup>は、鉄砲で撃たれてタタリ神となりかけました。シシ神は首を取られて荒ぶる神となります。そして人間は、また新たな苦しみを負うことになるのです。

とするならば、死霊が真の意味で報われるのは、死霊が死霊でなくなる。つまり、和解の日が訪れたときにほかなりません。

もののけという言葉が持つ恐ろしい響きは、そこから目を背けようとするから生じるのであって、むしろその根源にある問題に向き合うとき、それは救うべき悲しみとして私たちの眼前に立ち上がってきます。

『もののけ姫』の中でアシタカはサンを救おうとします。そのやさしさと勇氣に満ちた手が、もののけの心を開くのです。アシタカがサンに向ける目は、決して憐みの目ではありません。ジヒの目とも違うでしょう。それはただ曇りなき目なのです。純粹に本質を見極めようとする力強い眼差しです。

映画の **I** は「生きる。」というものでした。これはアシタカがサンに呼びかけた言葉でもあります。この言葉に込められた **II** は、どんな困難が待ち受けているかわからないけれども、前向きに対峙していくしかないということなのだと思えます。

この世は対立と恨みに満ちています。個人的なものから国家対国家、民族対民族、あるいは人間対自然といった遠大なものまで。

しかし、いずれも解決できないものではないはず。対立から死霊を生み出し、恐れながら生きていくのか、積極的に和解の道を探っていくのかは、私たち次第です。(中略)

腕は体の一部です。人間の体は必要なものでできています。どの部分にもちゃんとした役割があるのです。そうでないものは退化していきますから。太古の昔は生えていた濃い体毛も、服を着るようになって消えていきました。

その中でも、太古の昔から変わらぬ役割を果たしている部分の一つが腕です。しかもあまり進化してはいないといえます。人間はかなり複雑なことを考えるようになってきているので、ほとんど脳が大きくなっています。でも、腕は **B** して直接ものをつかんだり、道具を使ったりするのに使われてきただけです。

たしかに使う道具は変わってきていますが、基本的には同じことです。道具を使うのが人間の特性ですから、ある意味では腕はその人間の特性を生かすうえで、重要な役割をはたしているということになります。

したがって、腕次第でその人の能力は変わってくるのです。能力を磨くことを「腕を磨く」といったり、能力を上げるこ

とを「腕を上げる」というのはそのためです。あるいは有能な部下のことを「X」と表現したりもします。腕は能力を左右するものなのです。

アシタカが呪いをかけられたのが腕であったのは、偶然ではないでしょう。

アシタカは武術に長けており、弓でタタリ神を射抜きました。その高い能力を持った腕に呪いをかけられたのです。

時にそれは「鬼だ」と恐れられるほどの力を発揮し、もはやアシタカが普通の人間ではないことを象徴しています。

実際、アシタカはその後ますますCし、鉄砲で撃たれても死ぬことはありませんでしたし、10人かかって開けるような重い扉を片手で押し開けましたから。

では逆に、そんな腕がなくなったらどうなるか？ それはその人にとって能力の喪失を意味するのではないのでしょうか。だからアシタカが放った矢は、ことごとく相手の腕を吹き飛ばしたのです。もう二度と矢を放ち、刀を振り回すことができないように。それは戦士にとって大きな痛手です。

モロが最後の力を振り絞ってエボシ御前に加えた一撃も、彼女の腕を噛みちぎることでした。

命を奪うことができないとすれば、道具を持って戦う人間が一番失って困る腕を奪う。モロは復讐としてあえて腕を奪い去ったのです。

そうなると今度は逆に、腕を奪い去った敵に対する復讐心が芽生えるわけですが、幸いモロは死んでしまいました。だからエボシ御前が、足を奪われた『白鯨』のIII船長のように復讐の鬼になってしまうことはありませんでした。むしろ自分のやったことに対する報いと受け止めているくらいです。何しろ神殺しをしようとしたのですから。

もちろん、腕がなくなったからといって、人間は死ぬわけではありません。道具がまったく使えなくなるわけでもないでしょう。

ただ、人間が能力を奪われるということの象徴として、腕が取り上げられているだけです。

宮崎駿がそうしたものとして腕に着目するのは、自ら筆を執って絵を描くIVにとって、それが大事な要素だからな

のかも知れません。

古くから鉄は産業の礎とされてきました。とりわけ日本では、製鉄そのものは弥生時代から行われていた形跡が残ってい

ます。

『もののけ姫』には、「たたら場」という製鉄を行う場所が出てきました。たたら製鉄というのは、ふじ鞆を踏んで空気を送り込み、火力を強める製法のことです。

エボシ御前は製鉄を産業にすることで女性たちに仕事を与え、病気の人たちを救おうとしていました。もちろん石火矢いしびやと呼ばれる鉄砲をつくるという目的があったわけですが。

そのために外部とは様々な軋轢あつれきを生んでしまっています。

まず原料は砂鉄なので、山を削り、木を伐らなければなりません。そこで森の主たちと衝突が起こるのです。

製鉄は文明の象徴ですから、文明と自然の衝突が生じてしまうのです。その泥沼の争いを見て、アシタカは「森とたたら場、双方生きる道はないのか？」と問いかけます。

それは現代にも通じる、産業と環境保護の両立をモサク①する発想にほかなりません。人間には人間の理屈②があり、自然界には自然界の理屈があります。

たたら場の仕事はきついものですが、女性たちはそれでも頑張ります。彼女らは下界でひどい仕打ちを受けるよりましだからといっていましたが、決してそれだけではないでしょう。

苦しくとも人間には産業が必要なのです。だから襲われても襲われても自然と対決しようとするのです。

通常は自然の側はものをいうことはありませんが、この物語では、森の主たちが言葉を発し、抵抗をします。

だから余計にやるせなさを感じるのです。いわば人にとって生きる糧である鉄は、自然にとっては死を招くつづてなのです。実際、鉄のつづてである鉄砲の弾は、猪をタタリ神に変え、苦しみを与えました。そうして命を奪ったのです。

残念ながらこの鉄と自然のソウコク③は、今なお続いていきます。環境破壊もそうですし、命を奪うつづてもいまだに社会問題となっているのです。鉄は武器になります。ですから人間の命を奪う道具として使われるのです。

アメリカの銃社会ほどではないですが、日本でも銃犯罪はあります。いや、刃物による犯罪も車による事故も、ある意味では鉄の引き起こした悲劇といつていいかもしれません。

鉄は便利な道具として私たちの生活を支える反面、その便利さゆえに人の命を奪う可能性もはらんでいるのです。

鉄はそうやってずっと人間の役に立つと同時に、人間の命を奪い続けてきました。そこには生と死の V を垣間見ることができません。人間と鉄の長い歴史は、喜びと悲しみの歴史だといってもいいでしょう。

そう考えると、正直、私には鉄が人間にとっていいものなのかどうかわからなくなってきました。森の主たちの苦しみ、私の頭を悩ませるのです。つぶての秘密を知りたがったアシタカの気持ちがよくわかります。

そして彼はこういいました。「曇りなきまなこで見定め、決める」と。

私もそうするよりほかないと感じています。いいえ、人類全体がそうすべきなのです。

(小川仁志『ジブリアニメで哲学する 世界の見方が変わるヒント』による。  
ただし、出題に際して、字句や表記の改変、段落の変更・省略を施した箇所がある。)

問一 傍線部ア～オの漢字の読みとしてもっとも適切なものを、それぞれの中から一つずつ選びなさい。

(解答番号

ア || 1、

イ || 2、

ウ || 3、

エ || 4、

オ || 5)

ア	綴	[1]	すす	[2]	つつ	[3]	くく	[4]	たど	[5]	わか
イ	赦	[1]	いや	[2]	しる	[3]	のろ	[4]	ゆる	[5]	はな
ウ	背	[1]	さ	[2]	せ	[3]	む	[4]	そむ	[5]	しむ
エ	長	[1]	た	[2]	か	[3]	おさ	[4]	ひさ	[5]	なが
オ	礎	[1]	いし	[2]	すえ	[3]	しょ	[4]	どだい	[5]	いしずえ

問二 傍線部①～⑤の片仮名の太字箇所を用いる漢字としてもっとも適切なものを、それぞれの中から一つずつ選びなさい。

(解答番号) ① || 、 ② || 、 ③ || 、 ④ || 、 ⑤ ||

- |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| ⑤     | ④     | ③     | ②     | ①     |
| ソウコク  | モサク   | ジヒ    | レンサ   | ギセイ   |
| [1] 刻 | [1] 作 | [1] 自 | [1] 鎖 | [1] 義 |
| [2] 黒 | [2] 昨 | [2] 辞 | [2] 沙 | [2] 疑 |
| [3] 告 | [3] 朔 | [3] 持 | [3] 作 | [3] 偽 |
| [4] 克 | [4] 索 | [4] 路 | [4] 詐 | [4] 犧 |
| [5] 酷 | [5] 策 | [5] 慈 | [5] 磋 | [5] 儀 |

問三

を埋めるのにもっとも適切なものを、それぞれの中から一つずつ選びなさい。

(解答番号) I || 、 II || 、 III || 、 IV || 、 V ||

- |             |             |           |             |          |
|-------------|-------------|-----------|-------------|----------|
| I           | II          | III       | IV          | V        |
| [1] プロパガンダ  | [1] メッセージ   | [1] エイハブ  | [1] バロメーター  | [1] ストレス |
| [4] ガイダンス   | [4] ビジョン    | [4] スミス   | [4] プロデューサー | [4] ニアミス |
| [2] キャッチコピー | [2] コピー     | [2] トーマス  | [2] プロモーター  | [2] ギャップ |
| [5] マニユフェスト | [5] プロモーション | [5] シルヴァー | [5] オプザバー   | [5] ジレンマ |
| [3] オプション   | [3] エール     | [3] フック   | [3] アニメーター  | [3] バランス |

問四

A

く C

を埋めるのにもっとも適切なものを、それぞれの中から一つずつ選びなさい。

(解答番号

A || 16

、

B || 17

、

C || 18

)

A [1]

自暴自棄

[2]

自画自賛

[3]

自業自得

[4]

自作自演

[5]

自縄自縛

B [1]

終始一貫

[2]

青天霹靂

[3]

怒髪衝天

[4]

初志貫徹

[5]

白河夜船

C [1]

聖人化

[2]

怪人化

[3]

挙人化

[4]

超人化

[5]

巨人化

問五

X

を埋めるのにもっとも適切なものを、次の中から一つ選びなさい。

(解答番号

19

)

[1] 敏腕

[2] 腕前

[3] 腕先

[4] 左腕

[5] 右腕

問六

足を使った慣用句について、i～vの意味にもっとも適切なものを後の解答群の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。(同じものを繰り返し用いてもよい。)

(解答番号

i ||

20

、

ii ||

21

、

iii ||

22

、

iv ||

23

、

v ||

24

)

i 相手のすきにつけ入って、失敗や敗北に導く。

ii 酒に酔って、あるいは障害にあつて、歩行が思うようにならない。

iii 事故などが交通機関を止めて、人の移動を不可能にする。

iv 悪い所行をやめてまじめになる。

v 犯罪事実の解明に手がかりになるものが見つかる。



- [1] 足が上がる                    [2] 足が付く                    [3] 足が遠のく                    [4] 足で稼ぐ
- [5] 足に任せる                    [6] 足を洗う                    [7] 足を取られる                    [8] 足を奪う
- [9] 足を引つ張る                    [10] 足をすくう

問七

二重傍線部①・②について述べた文章で、もっとも適切なものをそれぞれの中から一つずつ選びなさい。

(解答番号

① ||

25

② ||

26

)

① 死霊が悪なのではなく、死霊を生み出した人間が悪なのです。

[1] 死霊にはこの世における善悪の基準がなく、人間界においては死霊より崇られた人間のほうが悪いこととなる。

[2] 死霊は死んでしまった人間がなるものであり、人間に死後の世界にまで責任を問うことはできないこととなる。

[3] 死霊が死霊になるには理由があり、人間は過ちを犯す生き物であり、その過ちが死霊を生み出すことになる。

[4] 死霊が死霊になる順番が大切なのであり、結果としての死霊自体には罪はなく悪とはいえないこととなる。

[5] 死霊が死霊になるには生きた人間の力が必要であり、誰でも死霊になれるというわけではないこととなる。

② 人間には人間の理屈があり、自然界には自然界の理屈があります。

[1] 人間にとって産業は発展であるが、自然界にとっては山を削られ、木を伐られてはげ山になってしまいい人間に被害をもたらすと危惧されている。

〔2〕 人間にとって産業は生活に欠かせないが、自然界にあつては戦う必要がないことから、鉄は武器でしかなく役に立たないと軽視されている。

〔3〕 人間にとって産業は善であるが、自然界にとっては人間の産業は悪であり、製鉄は自然に対して何もしてくれないものとして蔑視されている。

〔4〕 人間にとって産業は必要であるが、文明の象徴でもある製鉄は森の自然を破壊することになり、自然界からは不要なものとして敵視されている。

〔5〕 人間にとって産業は女性に仕事を与え、病氣の人たちを救い利益をもたらすが、自然界にとってはあつてもなくてもよいものとして無視されている。

問八

死霊などを描いた上田秋成の作品を、次の中から一つ選びなさい。

(解答番号

27

)

〔1〕 雨月物語

〔2〕 ゆうれい船

〔3〕 冥途

〔4〕 死霊

〔5〕 レキシントンの幽霊

問九

妖怪などを描いた泉鏡花の作品を、次の中から一つ選びなさい。

(解答番号

28

)

〔1〕 山椒魚

〔2〕 山月記

〔3〕 高野聖

〔4〕 風博士

〔5〕 倫敦塔

次の文章は、八月の出産予定日を前にして、葵の上は執拗な物の怪にひどく悩まされるが、修験僧の効験か病勢やや静まつたところで、源氏を呼び寄せた場面である。この文章を読んで、後の問いに答えなさい。

御几帳みきちやうの帷子かたびらひき上げて見たてまつりたまへば、いとをかしげにて、御腹はいみじう高うて臥ふしたまへるさま、よそ人だに見たてまつらむに心乱れぬべし。まして惜しう悲しう思すことわりなり。白き御衣ぞに、色あひいと華やかにて、御髪みくしのいと長うこちたきをひき結ゆひてうち添へたるも、かうてこそらうたげになまめきたる方かた添ひてをかしかりけれと見ゆ。御手てをとらへて、「あないみじ。心憂こころづきめを見せたまふかな」とて、ものも聞こえたまはず泣きたまへば、例れいはいとわづらはしう恥はづかしげなる御まみを、いとたゆげに見上げてうちまもりきこえたまふに、涙のこぼるるさまを見たまふは、いかがあはれの浅からむ。

あまりいたう泣きたまへば、心苦こころしき親たちの御事を思し、またかく見たまふにつけて口惜くちをしうおぼえたまふにやと思して、「何なにごともしとかうな I そ。さりともしけしうはおはせじ。いかなりともかならず逢あふ瀬せあなれば、対面たいめんはありなむ。大臣おとど、宮なども、深き契ちぎりある仲は、めぐりても絶えざなれば、あひ見るほどありなむと思せ」と慰めたまふに、「いで、あらずや。身の上のいと苦しきを、しばしやすめたまへと聞こえむとてなむ。 かく参り来むともさらに思はぬを、もの思ふ人の魂たましひはげに B あくがるものになむありける」となつかしげに言ひて、

なげきわび空に乱るるわが魂たまを結びとどめよしたがつま

とのたまふ声、けはひ、その人にもあらず変りたまへり。いとあやしと思しめぐらすに、ただかの御息所みやすせじころなりけり。あさましう、人のとかく言ふを、よからぬ者どもの言ひ出づることと、聞きにくく思してのたまひ消けつを、目に見す見す、世にはかかることこそはありけれと、疎うとましうなりぬ。

(『源氏物語』による。ただし、出題に際して、字句や表記の改変、段落の変更・省略を施した箇所がある。)

【注】白き御衣：出産が近づくと、産婦の衣服はもちろん、産室の調度から、産室に出入りする家人や女房の衣服まで白色に変えるのが例。

したがひのつま：着物の前を合わせた内側になる部分、下前の角。

問一 波線部①について文法的に説明したもののうち、もつとも適切なものを、次の中から一つ選びなさい。

(解答番号

29

)

① きこえたまふ

〔1〕 「きこえ」は作者から源氏への敬意を表す謙譲の補助動詞。「給ふ」は作者から源氏に対する敬意を表す尊敬の補助動詞。

〔2〕 「きこえ」は作者から源氏への敬意を表す謙譲の補助動詞。「給ふ」は作者から葵の上に対する敬意を表す尊敬の補助動詞。

〔3〕 「きこえ」は作者から葵の上への敬意を表す謙譲の補助動詞。「給ふ」は作者から源氏に対する敬意を表す尊敬の補助動詞。

〔4〕 「きこえ」は作者から葵の上への敬意を表す謙譲の補助動詞。「給ふ」は作者から葵の上に対する敬意を表す尊敬の補助動詞。

〔5〕 「きこえ」は作者から源氏への敬意を表す謙譲の本動詞。「給ふ」は作者から葵の上に対する敬意を表す尊敬の補助動詞。

問二

I

を埋めるのにもつとも適切なものを、次の中から一つ選びなさい。

(解答番号

30

)

〔1〕 思し入れ      〔2〕 思し入る      〔3〕 思し入るる      〔4〕 思し入るれ      〔5〕 思し入れよ

問三

波線部⑥の後に省略されている語句として、もっとも適切なものを、次の中から一つ選びなさい。

(解答番号

31)

[1] かく聞こえはべりき

[2] かく聞こえはべりし

[3] かく聞こえはべりけり

[4] かく聞こえはべりしか

[5] かく聞こえはべりけれ

問四

二重傍線部④、⑤の意味としてもっとも適切なものを、それぞれの中から一つずつ選びなさい。

(解答番号

④ || 32、

⑤ || 33、

⑥ || 34、

⑦ || 35、

⑧ || 36)

④ いとわづらはしう恥づかしげなる御まみ

[1] とても気づまりで、懲り懲りする御まなざし

[2] とても気づまりで、みっともない御まなざし

[3] とても気づまりで、近寄りがたい御まなざし

[4] とてもうるさくて、感心しない御まなざし

[5] とてもうるさくて、やっかいな御まなざし

⑤ 心苦しき親たちの御事を思し

[1] 落胆する両親たちの御事をお思いになり

[2] 気の毒な両親たちの御事をお思いになり

- [3] 堅苦しい両親たちの御事をお思いになり
- [4] 気を遣う両親たちの御事をお思いになり
- [5] 疎ましい両親たちの御事をお思いになり

◎C さりともけしうはおはせじ

- [1] いくら何でもよくなることはあるまい
- [2] いくら何でも気分が重くなることはあるまい
- [3] いくら何でも来なくなるのではあるまい
- [4] 当然大変なことにはおなりになるでしょう
- [5] 当然病気の症状が悪化してしまうでしょう

◎D 逢ふ瀬あなれば

- [1] 出会いの順番があるということだから
- [2] 遭遇する偶然があるということだから
- [3] 面会する必要があるということだから
- [4] 巡り会う機会があるということだから
- [5] 知覚する能力があるということだから

◎E あくがるもの

- [1] あこがれ恋するもの
- [2] 一方的に恋するもの
- [3] 落ち着きのないもの

- [4] 自然に発生するもの
- [5] 体からぬけどすもの

問五 傍線部①の主語は誰か。もつとも適切なものを、次の中から一つ選びなさい。

- [1] 大臣
- [2] 葵の上
- [3] 源氏
- [4] 御息所
- [5] 宮

(解答番号

37

)

問六 傍線部②の和歌は誰の心情を詠んだものか。もつとも適切なものを、次の中から一つ選びなさい。

- [1] 大臣
- [2] 葵の上
- [3] 源氏
- [4] 御息所
- [5] 宮

(解答番号

38

)

問七 作品の成立順として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

- [1] 伊勢物語 — とりかへばや物語 — 源氏物語 — 無名草子 — 浮世風呂
- [2] 伊勢物語 — 源氏物語 — とりかへばや物語 — 無名草子 — 浮世風呂
- [3] とりかへばや物語 — 伊勢物語 — 源氏物語 — 浮世風呂 — 無名草子
- [4] とりかへばや物語 — 源氏物語 — 伊勢物語 — 浮世風呂 — 無名草子
- [5] とりかへばや物語 — 無名草子 — 源氏物語 — 伊勢物語 — 浮世風呂

(解答番号

39

)

問八

作品の成立順として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

- [1] 蜻蛉日記―紫式部日記―更級日記―明月記―とはすがたり
- [2] 蜻蛉日記―更級日記―紫式部日記―明月記―とはすがたり
- [3] 蜻蛉日記―更級日記―紫式部日記―とはすがたり―明月記
- [4] 更級日記―紫式部日記―明月記―蜻蛉日記―とはすがたり
- [5] 紫式部日記―更級日記―蜻蛉日記―とはすがたり―明月記

(解答番号

40

)